

2023年度 事業報告書

事業ID2023016075

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2023年04月1日～2024年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 1/5

安全啓発と海に感謝 シーバードデイ2023

事業報告書類 2/5

人材育成サポートプログラム

事業報告書類 3/5

PR活動～イベントへの出展

事業報告書類 4/5

シーバードJapanカレッジ2023

事業報告書類 5/5

活動拠点への水上オートバイ配備

特定非営利活動法人
パーソナルウォータークラフト安全協会

はじめに

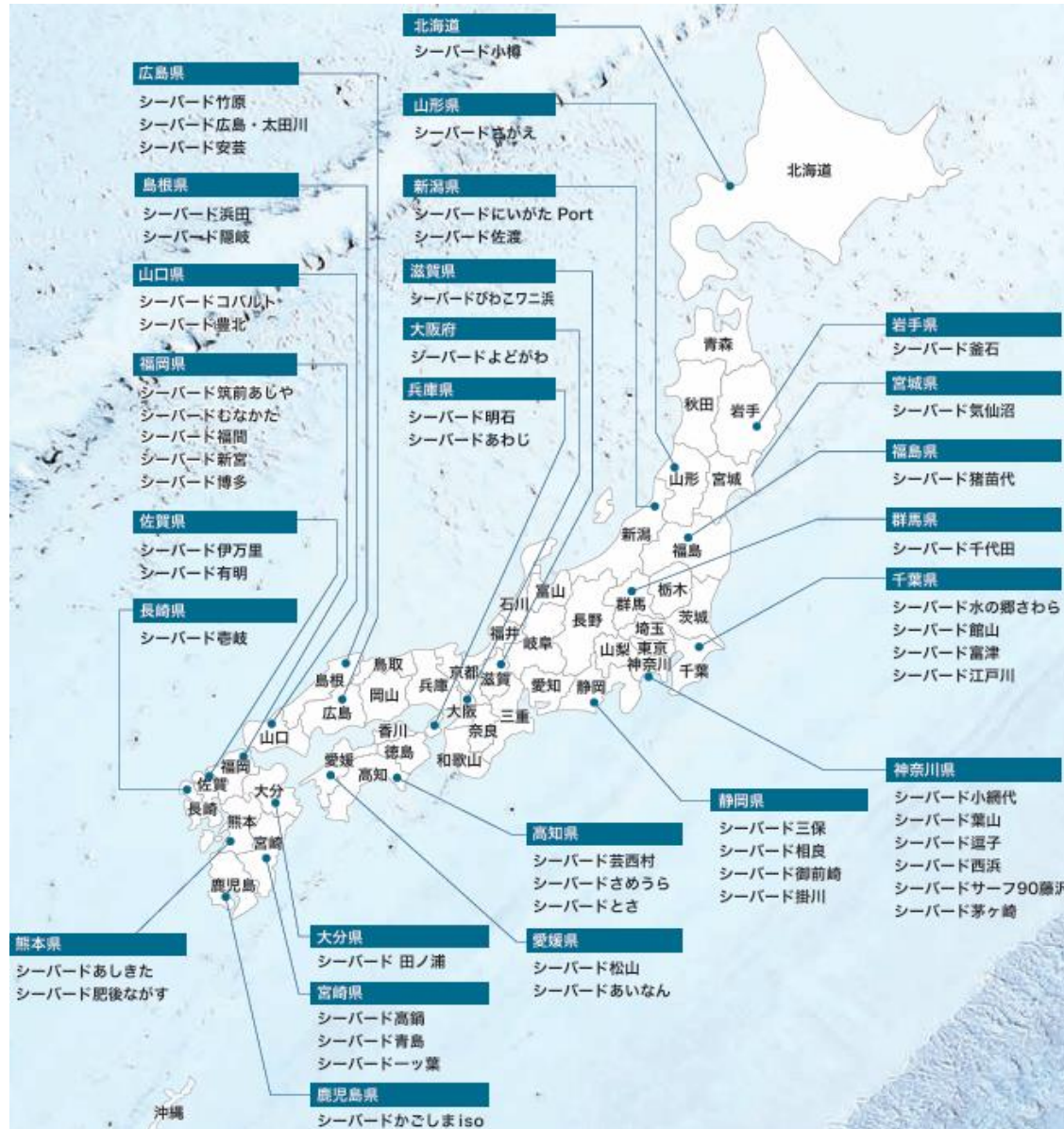
シーバードジャパン54拠点

中国・四国

広島県	シーバード 竹原	(株)二葉 マリンウェーブ竹原
	シーバード 広島・太田川	ミヤママリーナ(株) エム・シー・エム
	シーバード 安芸	安芸ライフセービングクラブ
島根県	シーバード 隠岐	隠岐マリンスポーツ振興協議会
	シーバード 浜田	NPO法人 浜田ライフセービングクラブ
山口県	シーバード コバルト	NPO法人 コバルトブルー下関ライフセービングクラブ
	シーバード 豊北	国都ジャパン サーフサイド
高知県	シーバード 芸西村	芸西村消防団
	シーバード さめうら	NPO法人 さめうらプロジェクト
	シーバード とさ	ヨシケンパートナーズ(株)
愛媛県	シーバード 松山	(有)クロスオーヴァー
	シーバード あいなん	あいなんかわむら海の家 マリンスポーツ部門

九州

福岡県	シーバード 筑前あしや	戸屋地区小型船安全協会
	シーバード むなかた	NPO法人 赤とんぼ内 宗像ライフセービング
	シーバード 福岡	福岡サンセットショアラフセービングクラブ
	シーバード 新宮	NPO法人 新宮ライフセービングクラブ
	シーバード 博多	マリクラブネイビー
長崎県	シーバード 壱岐	壱岐マリーナ
佐賀県	シーバード 伊万里	NPO法人 伊万里湾小型船舶安全協会
	シーバード 有明	太良町役場社会教育課
大分県	シーバード 田ノ浦	大分ライフセービングクラブ
宮崎県	シーバード 高鍋	NPO法人 児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブ
	シーバード 一ツ葉	宮崎ジェットマリン (有限会社尾崎商会)
	シーバード 青島	NPO法人 宮崎ライフセービング
熊本県	シーバード 肥後ながす	シーバドック
	シーバード あしきた	熊本県立あしきた青少年の家
鹿児島県	シーバード かごしま iso	かごしま磯ライフセービングクラブ



北海道・東北

北海道	シーバード 小樽	石狩湾マリンレジャー安全対策連絡協議会 分科会「レスキュー部会」
岩手県	シーバード 釜石	釜石ライフセービングクラブ
宮城県	シーバード 気仙沼	気仙沼ライフガード
山形県	シーバード さがえ	NPO法人 スペース・アンド・タイム・クリエーション
福島県	シーバード 猪苗代	猪苗代湖船舶安全協会内「猪苗代湖を守る会」

関東・甲信越

群馬県	シーバード 千代田	(有)DO SPEED
千葉県	シーバード 水の郷さわら	水の郷さわら
	シーバード 館山	館山市 経済観光部 観光みなと課
	シーバード 富津	富津岬をまもる会
	シーバード 江戸川	MG MARINE(株)
神奈川県	シーバード 小網代	(株)リビエラリゾート シーポニアマリーナ
	シーバード 葉山	NPO法人 葉山ライフセービングクラブ
	シーバード 逗子	NPO法人 湘南海上安全協会
	シーバード 西浜	NPO法人 西浜サーフライフセービングクラブ
	シーバード サーフ90藤沢	NPO法人 サーフ90藤沢ライフセービングクラブ
	シーバード 茅ヶ崎	サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ
新潟県	シーバード いわがたPort	(有)ドッグマリン
	シーバード 佐渡	(一社)SKF

中部・関西

静岡県	シーバード 三保	NPO法人 PW安全協会 静岡支部
	シーバード 相良	水難救済会相良救難所本部
	シーバード 御前崎	(一社)御前崎スマイルプロジェクト・JPWA/渚の交番
	シーバード 掛川	掛川市
滋賀県	シーバード びわこワニ浜	セーリングスポット ワニ
大阪府	シーバード よどがわ	NPO法人 PW安全協会 大阪支部
兵庫県	シーバード 明石	日の出マリン
	シーバード あわじ	ブルーラインアワジ

シーバード大洗(茨城県)
2023年度機材配備完了のシーバード大洗(茨城県)を加算し「54拠点」



2023年 54
2022年 拠点数

52

87
81
配備台数



521
464
登録隊員数

+57



26
26
拠点布石・都道府県



安全啓発と海に感謝 シーバードデイ2023

シーバードDAY

実施拠点 **29/54**

実施拠点29/開催回数44

参加者総数：4,222名（うち小学生以下1,841名）

子供達への体験&安全啓発活動を中心に開催

コア東西会場（シーバード江戸川/シーバード淡路）



シーバード新宮



シーバード葉山



シーバード気仙沼



シーバード千代田



シーバード水の郷さわら



シーバード志岐



シーバード田ノ浦



シーバードツ葉



シーバードデイ2023「水辺の安全」と「海に感謝」シーバードデイ2023
 体験プログラム参加者は4千名超え。小学生以下は約1800名に。
 全国では29拠点が参加、44事業を実施。
 《実施29拠点》《実施事業数44》《参加児童数1841名》《参加者総数4222名》

◆水辺の安全啓発「シーバードデイ2023」
 7月17日海の日実施 シーバード江戸川

海のシーズンにあわせ、水辺での事故を防ぐためのプログラムを中心とした「水辺の安全啓発」を目的に「シーバードデイ2023」の実施を呼びかけ、各拠点で実施しました。千葉県・シーバード江戸川が主幹となって7月17日の海の日に実施プログラムには、酷暑の中、約80名の子どもたちが参加し、水上オートバイ体験を中心に遊び、楽しみながら「着衣泳」「心肺蘇生・AED体験」「地震体験」「消防艇・警察艇内覧」「ロープワーク」のプログラムに参加し、事故にあわないようにすること、万が一の時の対応方法を学びました。プログラム終了後には官民合同水上訓練として、警察と水上オートバイ連携の落水者の救助、ボートが火災した際の救助、消火活動を見学しました。

- 参加：75名 ●大和田子供会 大人：22名 子供：28名
 ●稲荷木サッカークラブ 大人：8名 子供：17名
- 訓練参加協力：市川市消防局・千葉県警察本部水上警察隊・千葉県市川警察署・警視庁小松川警察署・警視庁小岩警察署・一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会・シーバード館山・シーバード富津
- 運営協力：ミス日本協会

2023ミス日本グランプリ	吉岡 恵麻 様
2023準ミス日本	東海林 杏朱 様
2022ミス日本「水の天使」	横山 莉奈 様
2016ミス日本「海の日」	杉浦 琴乃 様



◆遊んだ、学んだ、出会った海に感謝
「シーバードデイ2023」
9月23日実施 シーバードあわじ

「遊んだ、学んだ、出会った」など、かけがえのない思い出と経験の場所となった海への感謝の気持ちを込めて、水辺清掃と水上オートバイの体験を中心とした『シーバードデイ2023』を企画し、9月23日(土)一斉開催を呼びかけました。

9月23日、兵庫県淡路市の浦海水浴場にて、パソナグループ様による周知活動のもと地元の児童を中心とした約180名の参加者と、ミス日本協会のご協力によるボランティア参加の2023年のミス日本「海の日」であり特別海上安全指導員に任命された稲川夏希さんをはじめ歴代受賞者6名が応援。海岸清掃、水上オートバイ体験と交流、神戸運輸監理部、神戸海上保安部による安全講座、さらに今年開所の「シーバード明石」(兵庫県)、「シーバードとさ」(高知県)の2拠点が応援し、多彩なプログラムが実施されました。

■参加：約180名

■協力：神戸海上保安部・神戸運輸管理部・シーバード富津・シーバード明石・シーバードとさ・ドローン災害隊 Skyface・ミス日本・パソナグループ・Awaji Kids Garden・大塚製薬(株)・高浜商会・(一社)日本ジェットスポーツ協会・BlueLineAwaji

■運営協力：ミス日本協会

2023ミス日本グランプリ	吉岡 恵麻 様
2014年度ミス日本「海の日」	花岡 麻里名 様
2016ミス日本「海の日」	杉浦 琴乃 様
2018ミス日本「海の日」	山田 麗美 様
2022ミス日本「海の日」	属 安紀奈 様
2023ミス日本「海の日」	稲川 夏希 様



人材育成サポートプログラム

人材育成サポート

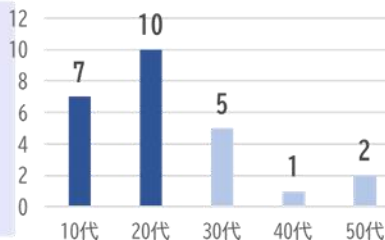
20/54

次世代、拠点活動を担う若い方々を対象
 特殊小型操縦士免許取得支援（受講料サポート）
 ＊取得者は3年間・年/10日以上活動を条件



20拠点25名取得(前年:18拠点/20名)

男性22名/女性3名
 最高齢52歳
 最年少19歳
 10代20代 65%



拠点名	人数	拠点名	人数
小樽	1	相良	1
釜石	1	コバルト	3
気仙沼	1	富津	1
佐渡	1	さめうら	1
千代田	1	あいなん	1
水の郷さわら	1	伊万里	1
にいがたPort	1	むなかた	1
葉山	1	田ノ浦	1
西浜	2	青島	2
さがえ	2	御前崎	1

拠点活動の継続とさらなる活性化を目的に、主に30歳代以下を対象として水上オートバイ操縦士免許の取得サポートプログラムを展開。20拠点から25名申請を受け、免許を取得した。25名のうち10代、20代が全体の65%となって、拠点活動継続の基盤である隊員の若返りという目的は達成できた。

水上オートバイを用いての活動のために必要な特殊小型操縦士免許(国家資格)取得をサポートする仕組みが、現場のニーズにあったと思う。人材育成の視点ではできるだけ若年層を対象としたいが、社会経験が豊富な中高年層でもそのキャリアを生かしての参画が、隊員の厚みになり、多様性という点でも貢献があった。

PR活動～イベントへの出展

広報/安全啓発&認知活動

日本最大のマリニイベント出展と協力 * ジャパンインターナショナルボートショー2023



地域コアマリニイベント/行政連携出展 * 関西ボートショー・フローティングボートショー
* みなとまつり神戸/マリニカーニバル
* 九州ボートショー



KOBE PORT
Minato Matsuri
2023



メディア対象イベントへの参画 * UMI協議会 マリニ体験イベント



海の安全に積極的に取り組む組織との連携やマリニレジャーユーザーへの周知を目的に、マリニイベントに出展しました。なかでも水上での事故件数が多く、メディアにもたびたび取り上げられている地域を選択し、該当管区の海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会などとの連携を強化しています。

<ジャパンインターナショナルボートショー2023>

横浜バイサイドマリーナ：UMI協議会主催事業への協力

<関西フローティングボートショー2023> 新西ヨットハーバー：神戸運輸管理部との連携

<みなとまつり神戸/マリニカーニバル> メリケンパーク：神戸海上保安署との連携

<九州ボートショー2023> 福岡市立ヨットハーバー：福岡海上保安部との連携

<海イコ体験乗船会> 若洲ヨット訓練所：UMI協議会主催メディア対象イベント

ニッポン放送

阿部亮のNGO世界一周！番組出演



シーバードジャパン竹長代表(左)と阿部亮氏(右)

3月18日午後9時30分から、ニッポン放送「阿部亮のNGO世界一周！」にシーバードジャパン竹長代表のインタビューが放送されました。

シーバードジャパンの活動と安全を基本とした水辺の賑わい、シーバードジャパンにかかわる人々のより良い環境づくりを目指した取組をお話いただきました。

これからの「シーバード」

これからの10年「新しいシーバードの歴史を築く楽しさ」「水辺で楽しむ人々を幸せにできる喜び」「子供たち、みんなの憧れの存在になる」活動方針・報告の最後に、竹長会長が語ったこの言葉が、シーバードの役割を端的に表すものであった。

年1回、2つの会場で行われる「シーバードカレッジ」は、会の理念を再確認するいい機会となったのではないだろうか。

専門誌、Yahoo! ニュース掲載
「シーバードジャパンカレッジ」
「竹長代表ロングインタビュー」

水上オートバイ専門誌「ワールドジェットスポーツマガジン」ではシーバードジャパンカレッジ(福岡)取材・掲載いただきました。Yahoo! ニュースでは～水上バイクは「なくなってもいい乗り物」なのか!? 「水上バイク」を使って“社会貢献”を行うシーバードジャパンの活動とは～のタイトルで掲載されました。(閲覧期限は過ぎています)

「ワールドジェットスポーツマガジン」
シーバードジャパンカレッジのレポート
(一部)



特別講演のほか、各拠点からの活動発表が行われた。

シーバードJapanカレッジ2023

〈開催概要〉

東日本大会

西日本大会

2023年11月16日(木)・17日(金)
会場：JRタワーホテル日航(36階たいようの間)

主催：シーバードジャパン
(NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会)

共催：公益財団法人 日本財団

協力：海上保安庁 交通部 安全対策課
第一管区海上保安本部/小樽海上保安部

2023年11月9日(木)・10日(金)
会場：ANAクラウンプラザ福岡(2階ボールルーム)

主催：シーバードジャパン
(NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会)

共催：公益財団法人 日本財団

協力：海上保安庁 交通部 安全対策課
第七管区海上保安本部/福岡海上保安部

〈プログラム〉(敬称略)

開会あいさつ 公益財団法人 日本財団 海洋事業部 野本圭介

ご来賓あいさつ 海上保安庁 交通部 安全対策課 課長 松浦あずさ様

シーバードジャパン2023年度活動総括と2024年度活動方針

NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会会長/シーバードジャパン代表 竹長 潤

講演1 ~水辺の安全にかかわるこれまでとこれから~ 公益財団法人 日本財団 海洋事業部 野本圭介

講演2 ~SNSブランディングと海のWELL-BEING~ ミス日本協会 理事 和田あい

講演3 ~海難事故における人命救助の未来~ AUTHENTIC JAPAN株式会社 代表 久我一総

講演4 ~プレジャーボート航行支援サービス「JM-Safety」の活用~ 日清紡ホールディングス株式会社 小島和也



■開会あいさつ

(公財)日本財団 海洋事業部 野本圭介

少子高齢、人手不足の状況下にあります。10年、20年後の社会変化を見据えながら、海、水辺の安全のための官民協力も未来志向でのありかたが求められます。

民の役割を発展させていく構図において、シーバードジャパンの活動にはさらに期待がかかります。海上保安庁皆様のさらなるご理解と連携活動の充実を図ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ご来賓あいさつ

海上保安庁 交通部 安全対策課 課長 松浦あずさ様

シーバードジャパンのこのような取り組みが安全文化を作っていくこと認識しています。海上保安庁の活動では沿岸、領海で国益を守ることが優先されます。

海上での活動は十分な水深のある水域が主となり、沿岸を補うパートナーが必須です。シーバードジャパンは大切な位置づけにあると認識しています。外圧的ではなく内発的に地域から安全意識を高めていく事、根付かせることが不可欠です。海上保安庁とシーバードジャパンのシナジーによって、ともに海の安全文化を作っていくと思います。

●シーバードジャパンより2023年度総括

NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会会長

シーバードジャパン代表 竹長 潤

全国展開10周年の年に、登録隊員が500名を超えたことなど2023年10月現在のシーバードジャパンの全体構図を報告しました(隊員数、シーバードデイ実施実績、人材育成など)。



日本財団：野本圭介氏



海上保安庁交通部安全対策課長：松浦あずさ様



PWSA会長/シーバードジャパン代表：竹長 潤

マリナーの情勢と安全の確保について 海上保安庁 交通部 安全対策課 海難防止対策官 丸山恭平

シーバード拠点 活動発表 <東日本>水の郷さわら(千葉県) 江戸川(千葉県)
<西日本>あわじ(兵庫県) とさ(高知県)

シーバード隊員グループワーキング 聴きたいこと、知りたいこと、困っていること~他拠点のやり方に見つかるヒント PWSA事務局



講演プログラム(ダイジェスト)

水辺の安全に係るこれまでとこれからについて

- 日本財団の視点から -

(公財) 日本財団 海洋事業部 野本圭介



プロジェクト発足から10年…

「知識・経験・人材を繋ぎ」ながら、いま考えていること

Next Step

1. 水難事故防止に対する常識の再検証
2. 毎年繰り返される水難事故。その原因の分析
3. 一元的エビデンスデータの収集と活用
4. AIの活用など最先端テクノロジー開発
5. 民間主導によるALL JAPANの体制づくり

SNSブランディングと海のWELL-BEING

ミス日本協会 理事 和田あい



01 SNSのブランディング

- ・一億総発信者社会
- ・SNSの種類や効果、使われ分布
- ・世の中のイメージ
- ～ミス日本と水上バイク～

02 TO DO

- ・業界全体のブランディング
- ・炎上に気を付けよう

03 海のWELL-BEING

- ・WELL-BEINGとは
- ・日本の現状
- ・水上オートバイとともに

04 まとめ

SECTION 03:

シーバードの方々はwell-Beingが高い！？

- ①ポジティブな感情
うれしい、おもしろい、楽しい、感動、感謝などのポジティブな感情を持つ。➡
- ②何かへの感情
時間を忘れて何かに没頭する。 ➡ 時間を忘れて波と戯れる！
- ③他者との関係性
人とのつながりを持つ。 ➡ 同じ趣味の仲間と。
- ④生きる意味
生きる意味を自覚する。社会に対して自分のできることは何かを考える。 ➡ 使命感
- ⑤達成
何かを達成したり、成し遂げたりするために頑張る。 ➡ 安全啓発、救命活動

★カレッジ2日目「SNSのブランディング」実践編
皆さんでセルフブランディングをしてみましょう！

講演プログラム(ダイジェスト)

海難事故における人命救助の未来
オーセンティックジャパン株式会社 久我一総



発信機の電波を受信する体制



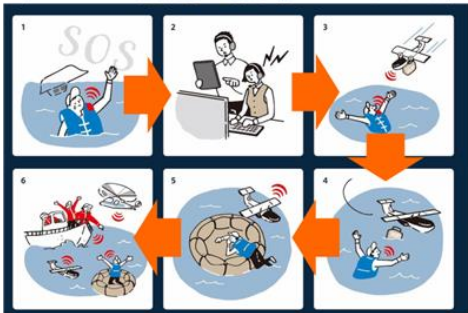
全国の山域へ対応するヘリコプターネットワーク

航空会社との提携ネットワークを駆使し、全国の山域をカバーします。※搜索山域は沖縄・島嶼部を除く。屋久島は対象。

全国38都道府県の警察/消防が導入・運用。

全国の警察・消防航空隊が、発信機の電波をキャッチする専用受信機を導入しています。未導入都道府県においてもココヘリは警察・消防と常に連携し搜索活動を行います。

ドローン活用で救助へつなげる



○ライフジャケットで「浮く」
○電波で「見つかる」

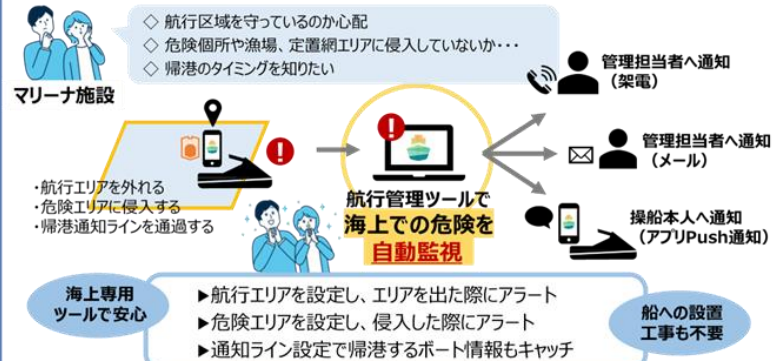


プレジャーボート航行支援サービス「JM-Safetyの活用」
日清紡ホールディングス株式会社 小島和也 吉川香奈



海難事故の状況と安全・安心に向けた取り組み
JM-Safety概要とシステム構成
マリーナ業務と操船者のJM-Safety活用例
航行管理ツールと航行支援アプリの機能紹介

航行管理ツールでマリーナ運営の不安を払拭



航行支援アプリで操船者の不安を払拭



講演プログラム(ダイジェスト)

マリネジャーの現状と安全対策について

海上保安庁 交通部 安全対策課
海難防止対策官 丸山 恭平

1 マリネジャーの海難の現状

- (1) 水上オートバイ事故の現状
- (2) 遊泳中の人身事故の現状

1 (1) 水上オートバイ事故の現状③

【水上オートバイの事故が多い県について】

(H30～R4) (事故が発生した場所を管轄する部署の所在地にて算出)



1 (1) 水上オートバイ事故の現状⑧

水上オートバイに関して社会的反響が大きいもの

水上オートバイについては、マナーなどに関してマイナスイ面の報道が多く、特に遊泳者等に対する危険な行為の報道が大きく取り上げられる場合が多い。

実態としては、水上オートバイとの衝突相手は...

衝突相手 (船舶を除く)

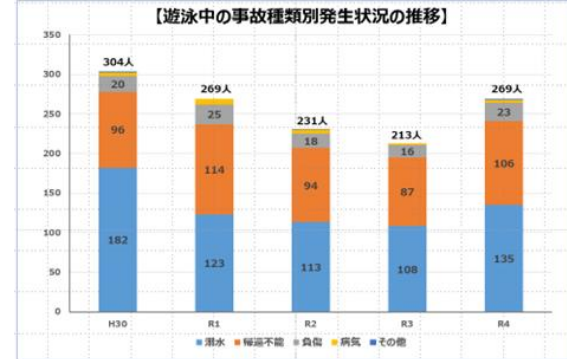
マリネジャーの種類	人数 (H30～R4)
トーイング遊具中	17人
遊泳中	3人
ウェイクボード中	2人
ハイドロライトデバイス中	2人

水上オートバイに乗るときには、周囲の遊泳者等への注意も重要だが、トーイング遊具などを牽引する場合についても注意が必要がある。

2 現状を踏まえた安全対策

- (1) 安全啓発を行うことができるコンタクトポイントについて
- (2) ウォーターセーフティガイドについて
- (3) 訪船指導時の対応強化について
- (4) シーバードジャパンとの連携について
- (5) 海上安全指導員について

1 (2) 遊泳中の人身事故の現状①



2 (5) 海上安全指導員について①

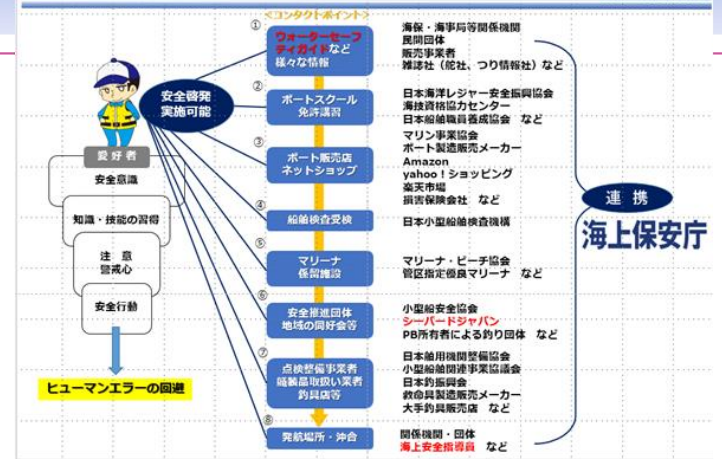
海上安全指導員

昭和49年に民間有志による安全活動を積極的に援助・育成するための方策として、「海上安全指導員制度」が発足。

活動内容



2 (1) 安全啓発を行うことができるコンタクトポイントについて



2 (4) シーバードジャパンとの連携について①



2 (5) 海上安全指導員について②

海上安全指導員等の指定要件

海上安全指導員	主任海上安全指導員
<ul style="list-style-type: none"> 過去の犯罪なし(前科前歴は別)の清潔性 小型船安全協会等の長の推薦 養成講習修了 小型船舶操縦免許受有 年齢25歳以上 	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績が顕著 活動年数が10年以上 小型船安全協会等の長の推薦

ステップアップ

（左）海上安全指導員手帳
（右）海上安全指導員ステッカー
（下）海上安全指導員胸章

安全パトロール

拠点活動報告

[東日本] ●シーバード水の郷さわら (千葉県) ●シーバード江戸川 (千葉県) [西日本] ◆シーバードあわじ (兵庫県) ◆シーバードとさ (高知県)



●シーバードあわじ (兵庫県)
節和 香

私は長きにわたり、ゲレンデ現場にて
子供の海離れに危機感を感じていました。

約30年以上前、
私たちの子供時代は、
下校途中では田んぼや川で遊び
休みの日はプールより海や川

15年くらい前、
私たちの子供世代からは
「プールが安全!!」となり
「海や川には行ってはいけない!
近づかない!」という社会的空気感になり、
自然の海、川、湖で遊ぶ子供人口が激減した
と感じています。

そんな子供の海離れによっ
てこの15年後に
「海(水辺)に関する仕事
に就く子どもたちはいる
のだろうか?」と思う
ばかりです。

子供達にもっともっと海や
自然の中で過ごしてもらい
未来の水辺に関する仕事に就い
て貰いたいと願っています。



そんな体験と経験を子供達にしてほしい!
そんな思いで
2023 シーバードデイ
シーバードあわじ こども海まつりを開催



<新拠点>
●シーバード明石 (兵庫県)
2023年11月30日開所

<新拠点>
●シーバード大洗 (茨城県)
2024年開所

●シーバード水の郷さわら (千葉県)
石川博史

●シーバード江戸川 (千葉県)
鈴木英之



【SB活動②】訓練・合同訓練
警察、消防と共に



【SB活動④】海ごみ(プラごみ)ゼロ活動
SDGs目標達成に向けた取り組み



シーバード江戸川 取り組み

①水上オートバイユーザーヘルール・マナーの周知 TPSPとの連携 <small>(千葉県警水辺課水上オートバイ専用艇隊・水辺安全ネットワーク)</small>	②地域との連携	③マリネレジャーの普及
---	---------	-------------

警視庁災害警備総合訓練



2023年8月25日開所 『シーバードとさ』のこれから

●シーバードとさ (高知県)
吉末達弘

- ・隊員を増やす
- ・ドライビングスキル、レスキュースキル向上のための自主訓練
- ・WRMA等のレスキュー訓練への参加
- ・ゲレンデの定期清掃及び整備
- ・安全啓発活動
- ・公共機関との合同訓練の実施
- ・SB他拠点、公共団体との意見交換



キャッチフレーズを作ってみよう

ミス日本協会 理事 和田あい

SECTION 02:

キャッチフレーズをつくる 暇

山口富士夫さんの場合
「ヒマなマリナー、いまりマリナー」



キャッチフレーズをつくる = 共通言語をつくる

シーバードジャパンの場合

「水上オートバイによる水辺の安心安全の確保」



意見交換



【発案 例】

◆個人篇

『つなぐ』水辺を利用する人、移住した人、いろいろな人をつなぐ

『限界突破アズマックス』自身の名前前の読みをもじって

『ぴちぴち笑顔を爆弾』自身の名前からイメージ

『距離は理由であっていいわけではない』好きだからこそ続けられる、距離を言い訳にたくない思いから。

◆拠点篇

『ブイブイいわない謙虚なシーバード』

『維持は後退ではなく新しい挑戦』

『水の都にいがた 楽しもうってば』

『古くて新しい』

「こまったことがあったらLSがいる候えかけて」 「暑いので熱中症に気を付けて」

「こんにちは、風ですが何があるかわからないので」 「航路近いので徐行で」 「お子様から目を離さずに 流れに気を付けて」

「こんにちは お子様LJ ベルとしっかり」 「三角波きをつけて」 「酒飲みすぎ海に入らない」 「離岸流が出ている」 「砂浜暑い」

「さかな釣れた？風強まる」 「テント飛ばされないよう」 「ブイが遊泳区域なので近づかない」 「風邪上がる沖で かえってこれる」

「船検切れている」 「雷警報が 気を付けてオフショア 流されないよう」 「サーフィンポイント 航路がクロス で入り」 「サメ」

「海保もパトロールくる、ちゃんとして」 「Jet釣り、まだい釣れた、機関故障あった 万が一には118」 「パラソルの向き、風向きみて」

「海保、PWC船検チェックあり 気を付けて」 「走ると体温下がる」 「お顔が赤くなって、入れ墨Tシャツで」 「飲みに来たんですね、陸で楽しみましょう」

「左官釣れてます 事故たくさんあるから気を付けて」 「深くなるので子供目を離さず」

「満潮に近い 船の出入り 遠く、音も確認 150mくらいはなれてサーフィンを」 「潮の流れ 流されないように」

◆出席者一覧 東日本大会 11/16-17 北海道・札幌市内

シーバード
18拠点
32名

北海道から
静岡県までの
1道9県から
18拠点32名

北海道	シーバード 小樽	小柳 圭太	小玉 忍
岩手県	シーバード 釜石	佐々木 良衡	金野 有紗
宮城県	シーバード 気仙沼	菅野 宏	×
山形県	シーバード さがえ	丹野 浩之	鈴木 信也
福島県	シーバード 猪苗代	國分 元	×
新潟県	シーバード にいがたPort	神田 涼也	渡辺 哲
	シーバード 佐渡	×	×
群馬県	シーバード 千代田	金子 浩二	永尾 澄男
茨城県	シーバード 大洗	飯田 英樹	福田 東一郎
千葉県	シーバード 水の郷さわら	三村 栄作	石川 浩史
	シーバード 館山	辰野 方哉	×
	シーバード 富津	古賀 健一郎	古賀 清美
	シーバード 江戸川	鈴木 英之	関口 美津春
神奈川県	シーバード 小網代	×	×
	シーバード 葉山	加藤 智美	小林 雅宏
	シーバード 逗子	×	×
	シーバード 西浜	石井 誠	金川 もも
	シーバード サーフ90藤沢	佐藤 穰	大沼 右子
	シーバード 茅ヶ崎	×	×
静岡県	シーバード 三保	合志 明倫	松下 裕亮
	シーバード 相良	福島 稔	曾根 由多
	シーバード 掛川	増田 一樹	土屋 明宏
	シーバード 御前崎	増田 洋樹	×

◆海上保安庁

海上保安庁 交通部

安全対策課長●松浦 あずさ
安全対策課 海難防止対策官●丸山 恭平
漁船・遊漁船安全対策係 安永 直人

第一管区海上保安本部

交通部長 剣持 良彦
交通部 安全対策課長 宮里 宰
安全対策課 安全対策調整官 岩谷 一人
安全対策課 安全対策第一係長 田中 夏美

小樽海上保安部

交通課長 柴山 智司
交通課 安全対策係 武田 真
地域海難防止対策官 越坂 亮太

◆講演者

- ・オーセンティックジャパン 代表●久我一総
- ・日清紡ホールディングス●小島和也／吉川果那
- ・ミス日本協会 理事●和田あい

◆司会進行 稲川夏希(2023ミス日本「海の日」／特別 海上安全指導員)

【シーバードジャパン推進団体】

- ・日本財団 海洋事業部 野本圭介
- ・パーソナルウオータークラフト安全協会
会長●竹長 潤
本部事務局長●轟 智和
本部事務局●高山浩明
北海道地方本部長●皆上昌弘
関東地方本部・東北地方本部・中部地方本部 事務局長●高橋勇貴
- ・日本青バイ隊 理事長●山口富士夫
- ・ウオーターリスキマネジメント協会: 理事長●今西淳樹

◆オブザーバー:ロケーションアラーム開発担当 ヤマハ発動機 安間寛文
ヤマハ発動機 三浦 航太郎

◆出席者一覧 西日本大会 11/9 -10 福岡県・福岡市内

シーバード
21拠点
34名

大阪府以西
九州までの
13県から

開催地
地元九州から
7県
11拠点

大阪府	シーバード よどがわ		
滋賀県	シーバード びわこワニ浜	北尾 吉夫	
兵庫県	シーバード 明石	矢木 耕平	
	シーバード あわじ	節和 香	
広島県	シーバード 竹原	山村 道信	中田 善方
	シーバード 広島・太田川	宮本 政明	木元 智紀
島根県	シーバード 安芸	多賀谷健太郎	
	シーバード 隠岐		
山口県	シーバード 浜田		
	シーバード コバルト	新名 文博	
徳島県	シーバード 豊北		
	シーバード 阿波		
愛媛県	シーバード 松山	山下 浩	大野 健二
	シーバード あいなん		
高知県	シーバード さめうら	伊藤 一文	澤田 幾弥
	シーバード とさ	吉末 達弘	中澤 辰志
福岡県	シーバード 筑前あしや		
	シーバード むなかた	小野 義明	赤松 陽平
	シーバード 新宮	前田 寛子	
	シーバード 福岡	門谷 千秋	
長崎県	シーバード 博多		
	シーバード 壱岐	大島 恒夫	今西 正国
佐賀県	シーバード 伊万里	山口 慎太郎	
	シーバード 有明	大江 政善	田中 新一郎
大分県	シーバード 田ノ浦	衛藤 遼	石井 謙太郎
熊本県	シーバード 肥後ながす		
	シーバード あしきた	中村 誠吾	岩崎 博志
宮崎県	シーバード 高鍋		
	シーバード 一ツ葉	尾崎 慎治	中村 文香
	シーバード 青島	戸波 恵斗	宮森 拓郎
鹿児島県	シーバード かごしまiso	濱 一洋	山下 丞

◆海上保安庁

海上保安庁 交通部

安全対策課長●松浦 あずさ
安全対策課 海難防止対策官●丸山 恭平
プレジャーボート安全対策係 大神 貴寛

第七管区海上保安本部

交通部長 真部 克彦
交通部 安全対策課長 古場 芳樹
安全対策課 安全対策第一係長 足立 義友
交通部 安全対策課 安全対策調整官 坂本 真一
安全対策第二／三係長 田中 伸太郎
安全対策第一係 草場 俊広

◆講演者

・オーセンティックジャパン 代表●久我一総
・日清紡ホールディングス●小島和也／吉川果那
・ミス日本協会 理事●和田あい

◆司会進行 稲川夏希(2023ミス日本「海の日」／特別 海上安全指導員)

【シーバードジャパン推進団体】

・日本財団 海洋事業部 野本圭介
・パーソナルウオータークラフト安全協会
会長●竹長 潤
本部事務局長●轟 智和
本部事務局●高山浩明
関西地方本部事務局長:瀬戸 彩花
九州地方本部長:伊藤 敬一
中国地方本部長:町田 吉兼
・日本青パイ隊 理事長●山口富士夫
・ウォーターリスクマネジメント協会: 理事長●今西淳樹

《スタッフ》

(運営PC操作) 泉 和男／(緊急サポート) シーバード富津; 古賀健一郎、清美
(撮影) 山岸重彦
(欠席) 山本聖司

《取材》ワールドジェットスポーツマガジン

活動拠点への水上オートバイ配備

2023年度は6式の配備計画のうち、3水域に新規拠点、3拠点に追加配備ができました。



【新拠点】
仁淀川河口から土佐湾の安全を目指す
シーバードとさ（高知県）8月25日

8/25(金) 19:05 配信

RKC高知放送



【新拠点】
明石、播磨灘を活動水域とする
シーバード明石（兵庫県）11月30日



【追加配備】
開所から10年のシーバード三保（静岡県）
11月21日



【追加配備】
開所から7年目のシーバード掛川（静岡県）
12月12日

